無題

富永太郎

青空文庫

幾日幾夜の　熱病の後なる
濠端のあさあけを讃ふ。

琥珀の雲　溶けて蒼空に流れ、
覚めやらで水を眺むる柳の一列あり。

もやひたるボートの　赤き三角旗は
密閉せる閨房の扉をあけはなち、
暁の冷気をよろこび甜むる男の舌なり。

朝なれば風は起ちて　雲母めく濠の面をわたり、
通学する十三歳の女学生の
白き靴下とスカートのあはひなる
ひかがみの青き血管に接吻す。

朝なれば風は起ちて　湿りたる柳の葉末をなぶり、
花を捧げて足速に木橋をよぎる
反身なる若き女の裳を反す。
その白足袋の　快き哄笑を聴きしか。

ああ　夥しき欲情は空にあり。
わが肉身は　卵殻の如く　完く且つ脆くして、
陽光はほの朱く　身うちに射し入るなり。

青空文庫情報

底本：「富永太郎詩集」現代詩文庫、思潮社
1975（昭和50）年7月10日初版第1刷
1984（昭和59）年10月1日第6刷
底本の親本：「定本富永太郎詩集」中央公論社
1971（昭和46）年1月
入力：村松洋一
校正：川山隆
2014年3月7日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

無題

富永太郎

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/